

国立京都国際会館施設の機能強化について

【関係省庁】外務省、国土交通省、観光庁

京都では、これまで大型の国際会議を成功に導いてきた国際コンベンションのノウハウを活かし、京都の「しつらえ」と「もてなし」の心で、更なる国際会議の誘致を進めます。

日本の文化芸術を世界に発信していくため、以下のとおり要望いたします。

国立京都国際会館に世界規格の大型会議場や展示場として活用できる多目的ホールの整備

- 京都において大型の国際会議を成功に導いてきたノウハウを活かし、更なる国際会議の誘致を進めるため、国のイニシアティブのもと、**国立京都国際会館の整備・運営に係る、基本設計に早期着手（事業化）**し、国際標準である 5,000 名規模の多目的ホールを拡充整備していただきたい。

※現在の国立京都国際会館の大会議場	1,840 名
<国際標準>	約 5,000 名
<世界最大規模>	約 20,000 名

<観光庁の概算要求>

◎訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業） 5,843 百万円

※ 国立京都国際会館については、平成 24 年度実施の国費を投入しないPFI事業手法の検討結果を踏まえ、事業化を検討

京都府の現状・課題等

◆MICE誘致に関する京都府の具体的な取組

- ・京都市をはじめ関係団体と共同したMICE誘致の推進
（(公財)京都文化交流コンベンションビューローによる活動への支援）
- ・ビジットKYOTO推進事業におけるビジット・ジャパンキャンペーン等連携事業

◆国内外の主要な国際会議場の状況

国名	会議場名	大会議場収容数
日本	国立京都国際会館(現行)	1,840名
	同上(整備後)	5,000名

日本	国立横浜会議場(パシフィコ横浜)	5,000名
日本	東京国際フォーラム	5,000名
日本	大阪国際会議場	2,754名
アメリカ	ワシントン州立会議センター	7,500名
イギリス	アールズコートアンドオリンピア	22,000名
カナダ	モントリオール会議センター	4,000名
ドイツ	ベルリン国際会議センター	5,008名
フランス	パリ国際会議場	3,700名
シンガポール	シンガポール国際会議・展示場	12,000名
中国	ホンコン会議・展示センター	8,400名
韓国	コエックス会議・展示センター	7,000名
オーストラリア	シドニー展示・会議センター	3,500名

◆京都が、積極的に誘致活動をしたものの国立京都国際会館のスペース不足により、開催が見送られた会議の代表事例

年度	国際会議名	要請スペース	開催地
平成14年度	国際感染症学会	3,000人程度の会議スペース 4,000㎡の展示場 10の分科会会場	シンガポール
平成14年度	第14回 世界心臓学会議	5,000人規模の会議スペース 1,000人収容のホール(3箇所) 200人収容の会場(10箇所)	オーストラリア
平成25年度	国際小児科学会	5,000人程度の会議スペース 12,000㎡の展示場	オーストラリア

【京都府の担当部局】

知事直轄組織 国際課 075-414-4313

商工労働観光部 観光課 075-414-4841